

プログラム名 (40字以内)	工学系日本語教育コースでのボランティア		
団体名/所属	東京大学大学院工学系研究科 国際工学教育推進機構 国際教育部門 工学系日本語教育コース		
活動区分	国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	30人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	特にないが、英語・中国語などの外国語ができると尚良い		
活動期間	原則、2025A1A2学期の第2～14週目 (必要に応じて相談可能)	主な活動予定場所	本郷キャンパス 工学部8号館
プログラム実施の目的	留学生対象の日本語授業における学習支援や活動への参加などを通して、多様な言語・文化・社会的背景を持つ留学生との国際交流と相互理解を促進する。		
具体的な内容(800字程度)	<p>【日本語授業ボランティアの内容】 日本語教室では、留学生・外国人研究員などを対象に、1) 研究・生活支援としての日本語教育、2) 日本文化事情教育、3) 交流・親睦のための多言語・多文化支援、4) 国際化推進の一環として留学生と日本人学生との交流を行っています。 日本語授業ボランティアでは、同じキャンパスにいてもなかなか出会うことができない約50か国、400名以上の留学生に実際に会い、話し、友達になる機会があります。そして、多様な言語・社会・文化的な背景を持つ留学生との交流を通して、自分とは異なるものの見方・考え方を知り、日本語の面白さ・難しさに触れることができます。さらに、留学生とともに日本の伝統文化に触れ、日本文化を外からの視点で見つめることで、新たな発見があるでしょう。 工学系日本語教室では、学生のみならずがこういった経験を通して視野を広げることで、異なる他者と向き合い、尊重し合う姿勢(国際的感覚)が身につくのではないかと考えています。 日本語を外国語・第二言語として学ぶプロセスや国際交流、異文化交流に関心のある方、あるいは将来留学を検討している方、留学生と一緒に学び合う体験をしてみませんか。</p> <p>【具体的な活動】 ①授業に参加し、ひらがなから学が初級レベル、日常生活の日本語をマスターした中級レベル、アカデミックな日本語を中心に学が上級レベルなど、様々なレベルの授業で留学生の日本語学習のサポートをする。 例) グループワークや会話パートナー、ディスカッションのメンバー、留学生のプレゼンテーションの聞き手、コメンテーター なお、活動期間中は週1コマ(2コマ以上も大歓迎)の授業への参加をお願いしたい。 ②イベントへの参加: 書道、茶道など伝統的な文化体験のサポート(参加希望・参加可能な場合) ③授業科目の詳細は、ホームページの時間割・概要をご参照ください。http://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/</p>		
【総額】参加するための費用	なし		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	なし		
【内訳】参加するための費用(交通費)	なし		
【内訳】参加するための費用(その他)	なし		
奨励金額(予定)	0円		
備考	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 担当コースを決める為、選考後の事前オリエンテーションへの参加必須。</li> <li>2. 円滑なボランティア活動を行うには、学期全体の流れを把握し、留学生との関係構築が必須である。そのために、少なくとも7割の出席が強く望まれる。</li> <li>3. 初級のコースに参加する場合、英語で対応することが必要な場合がある。</li> <li>4. 体験活動プログラムと同時に、毎学期工学系日本語教室でも授業ボランティアを募集しているが、体験活動プログラムの参加者は参加コースを優先的に選択できる。</li> <li>5. 体験活動プログラム終了後も希望があればボランティアを継続することができる。</li> </ol>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	<a href="https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/ja/activities/volunteer/">https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/ja/activities/volunteer/</a>		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	<a href="https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/ja/">https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/ja/</a>		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		